

工事写真報告書

工事番号 平成 29 年度

工事名 A 様 邸

工事箇所 屋根・外壁・その他 塗装工事

工事住所 北九州市 小倉南区 中曽根

工 期 着 手 平成 年 月 日

竣 工 平成 年 月 日

工事施工者 ベストホーム株式会社



外観



外観



外観



外観



外観



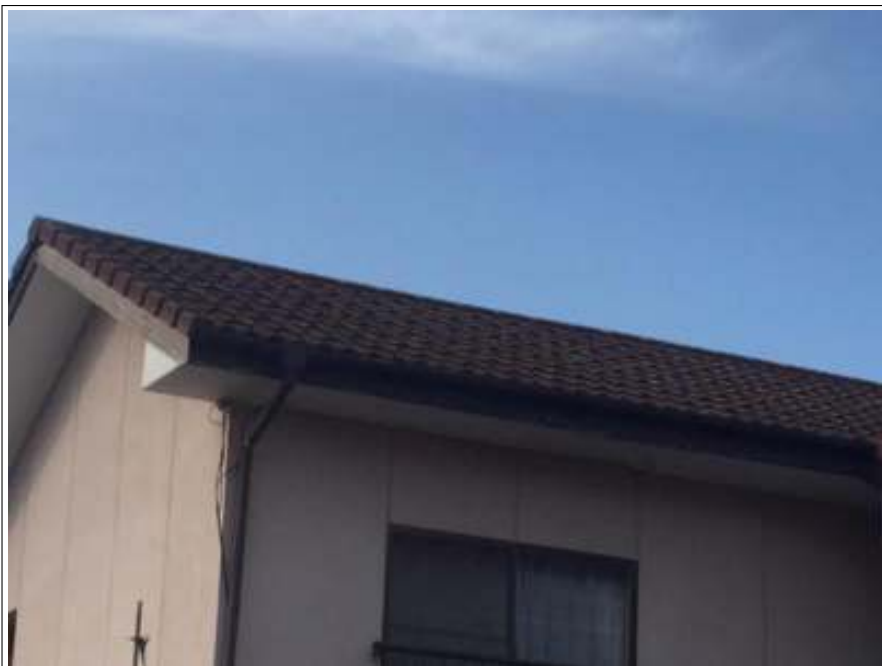
外観



屋根

セメント：骨材=1：3（セメント瓦は1：2）で作られており、新築当時は基材・スラリー層・アクリル塗装からなっています。

この瓦の施工の際は脆弱なスラリー層を除去し塗装を行わないと、剥離を起こしてきますので、下地処理がかなり大事になります。



屋根

施工手順

高圧洗浄（2回）…脆弱なスラリー層の除去

その後に下塗2回塗（屋根の下地再生補強）・中塗・上塗を行います。



屋根

同上



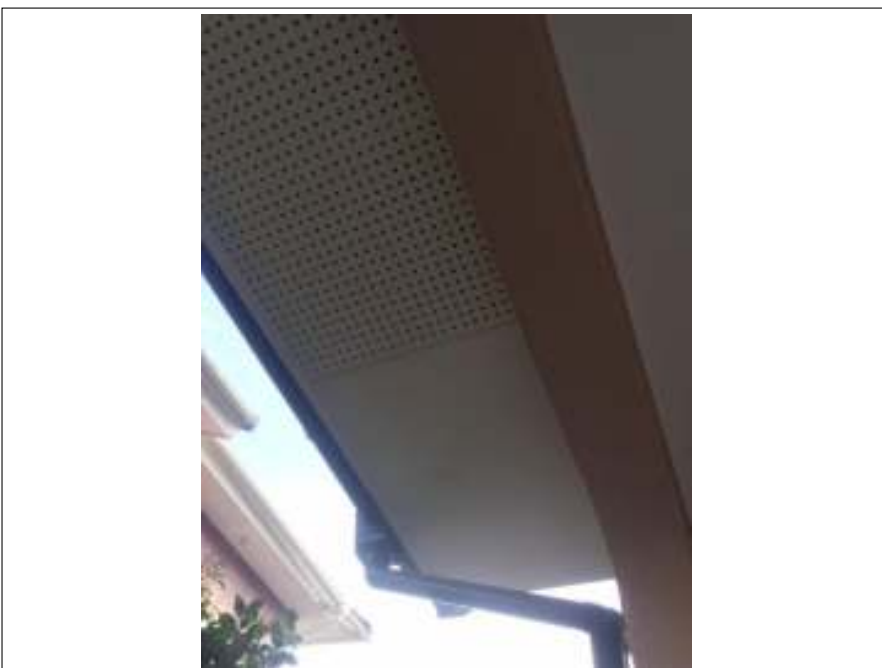
屋根

同上



予備瓦 【スカンジア瓦】

この屋根材は製造中止となっており
手に入らない屋根材になりますの
で、予備瓦も塗装をしていき保管を
お勧め致します。



軒天

経年劣化しております。
この部分は通気性の良い軒天専用の
塗装をしていきます。



破風板

経年劣化しています。

劣化すると腐食、お住まいの痛みにつながりますので、下塗り・上塗りをおこないます。



破風板

旧塗膜が剥離をおこなっています。

このまま塗装しても旧塗膜から剥がれる恐れがありますので、密着の悪い旧塗膜をケレン作業で除去し専用の下塗り・上塗りを行います。



樋

こちらは塩ビ素材になります。

劣化すると割れが生じたりすることがありますので、塩ビ専用の下塗りをおこない塗装をしていきます。



換気フード

この部分は鉄、スチール素材になります。劣化するとサビが発生してきますので塗装が必要です。



雨戸

対処方法

サビが発生しているうえに塗装をしてもすぐにサビが表面化してきますので、ケレン作業・サビ止め等の下地処理をおこない、塗装をしていく必要があります。



雨戸

同上



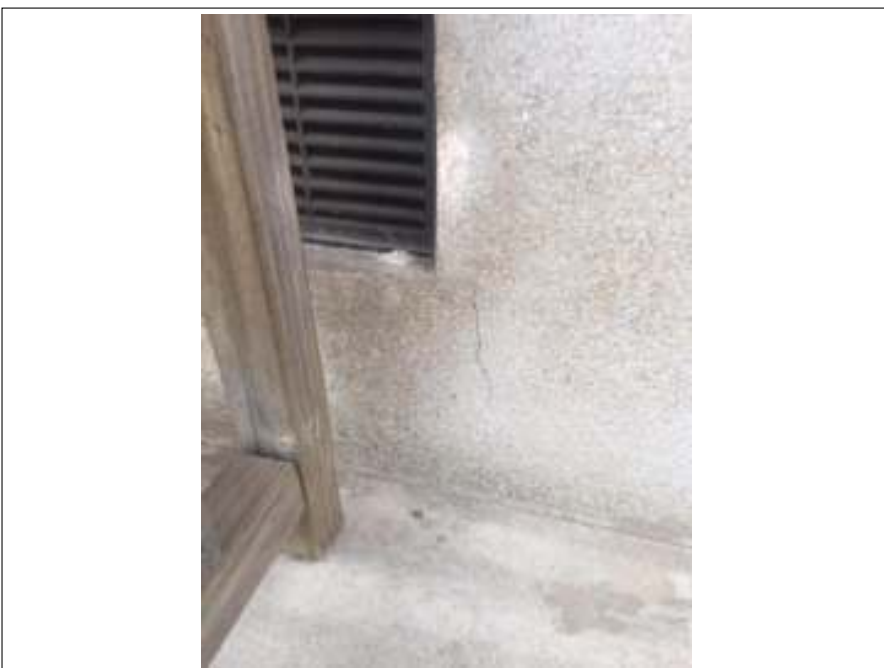
小庇

同上



鉄部 笠木

同上



基礎 クラック部

アルカリ性のコンクリートは空気中の二酸化炭素や酸性雨と結合することによって徐々に中性化されます。

中性化されたコンクリートは表面にヒビが入るだけでなく、内部の鉄筋の腐食や膨張につながり構造物の性能低下につながりますので、シーリング等で補修をおこないます。



基礎 クラック部

0.3mm以上のキレツは補修が必要です。



基礎 クラック部

同上



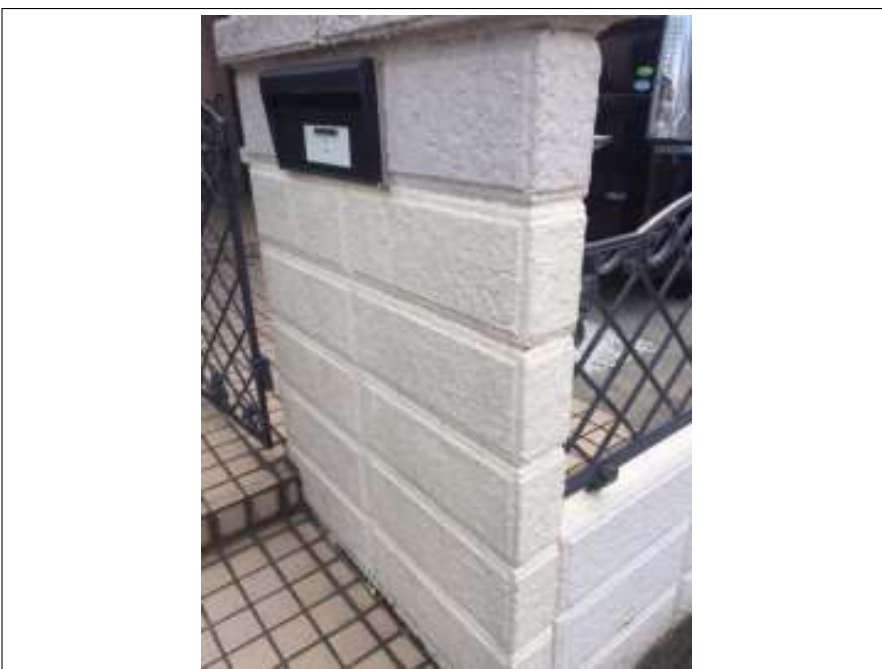
基礎 クラック部

同上



塀

地面から水や湿気を吸いはき出す部分になり、この部分に耐久性の高い塗装や膜を張る塗装をおこなうと、膨れる恐れがありますので、通気性の良い塀の塗装をおこないます。



塀

同上

※笠木部分と塀の色分けで見積をしています。



チョーキング現象

紫外線などにより塗膜の表面が劣化し、チョークの粉状のような状態になっています。

この状態になると表面から水や湿気を吸い込んでしまい、外壁や中の躯体の痛みにつながりますので、早めの塗装をお勧めします。



外壁 劣化部

同上



外壁 クラック部

この部分から雨水や湿気、炭酸ガス
等が直接侵入し躯体・外壁の痛みや
建物の寿命につながりますので、
シーリング等で補修をおこない塗装
をしていきます。



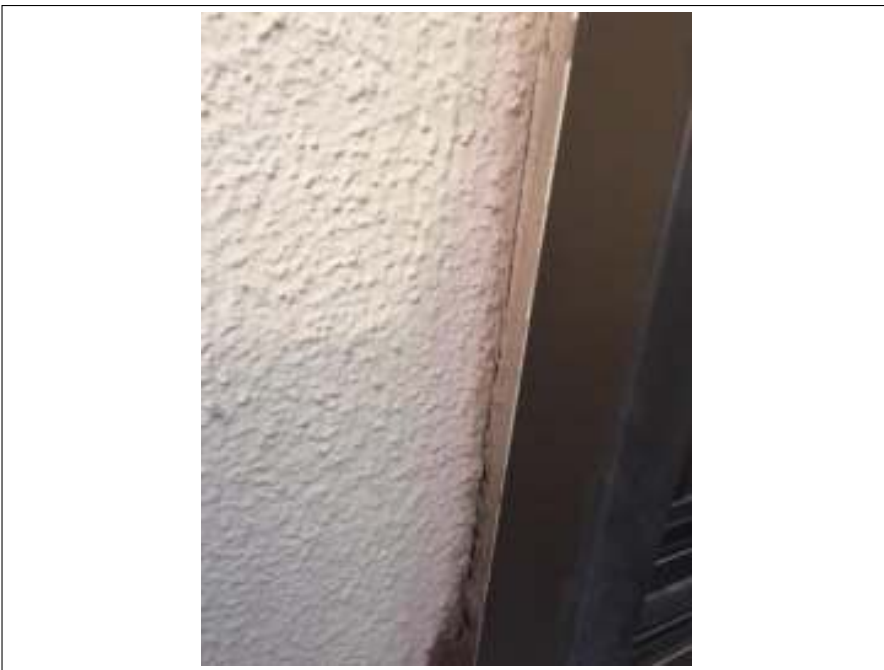
外壁 クラック部

同上



外壁 クラック部

同上



外壁 クラック部

同上

見落としがちですが、サッシ廻りも劣化している部分があります。

作成者：戸高勇樹

劣化診断士

認定番号：13100230

